

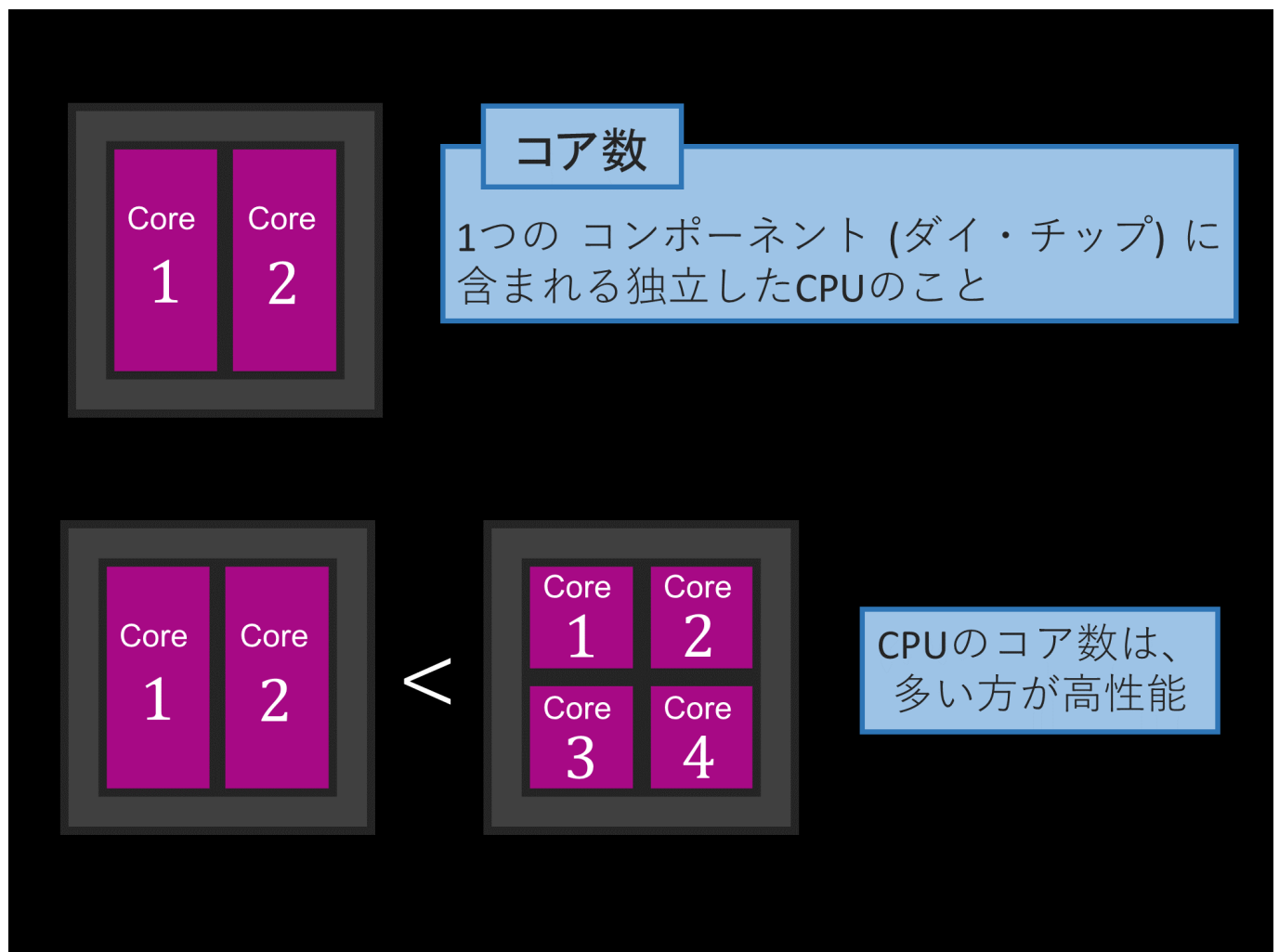
CPU の性能比較

以下のサイトがわかりやすかった。CPU 性能（スペック）を決める“5 大要素”とその指標の見方

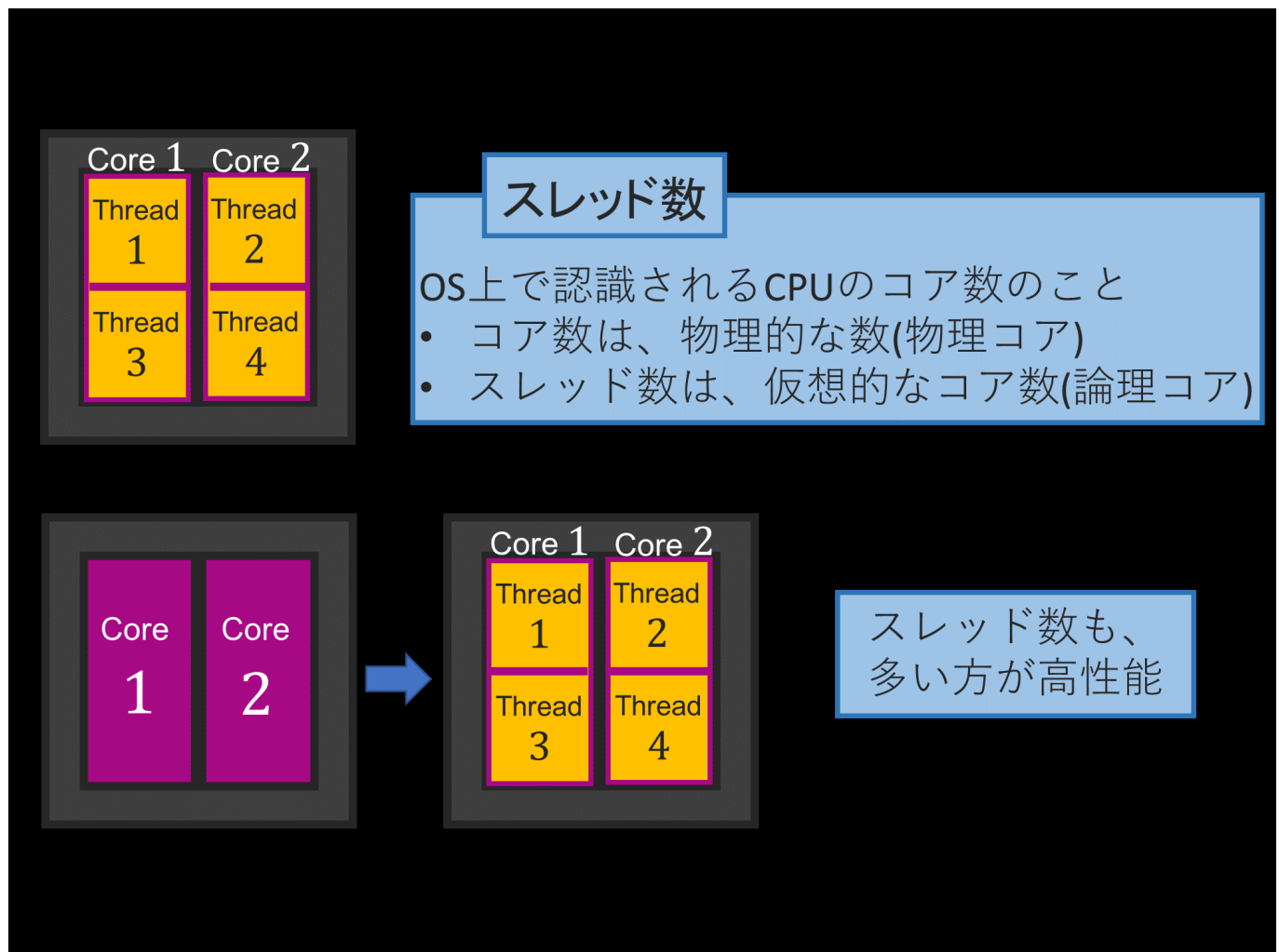
CPU の性能を決める要素

- コア数
- スレッド数
- クロック周波数
- キャッシュ
- バススピード

コア数



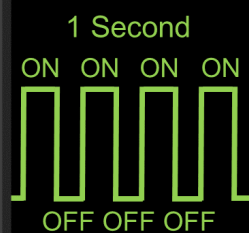
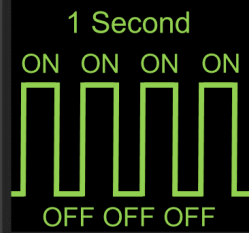
スレッド数



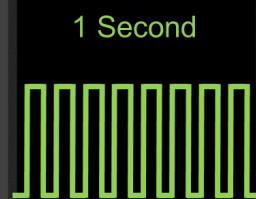
クロック周波数

クロック周波数

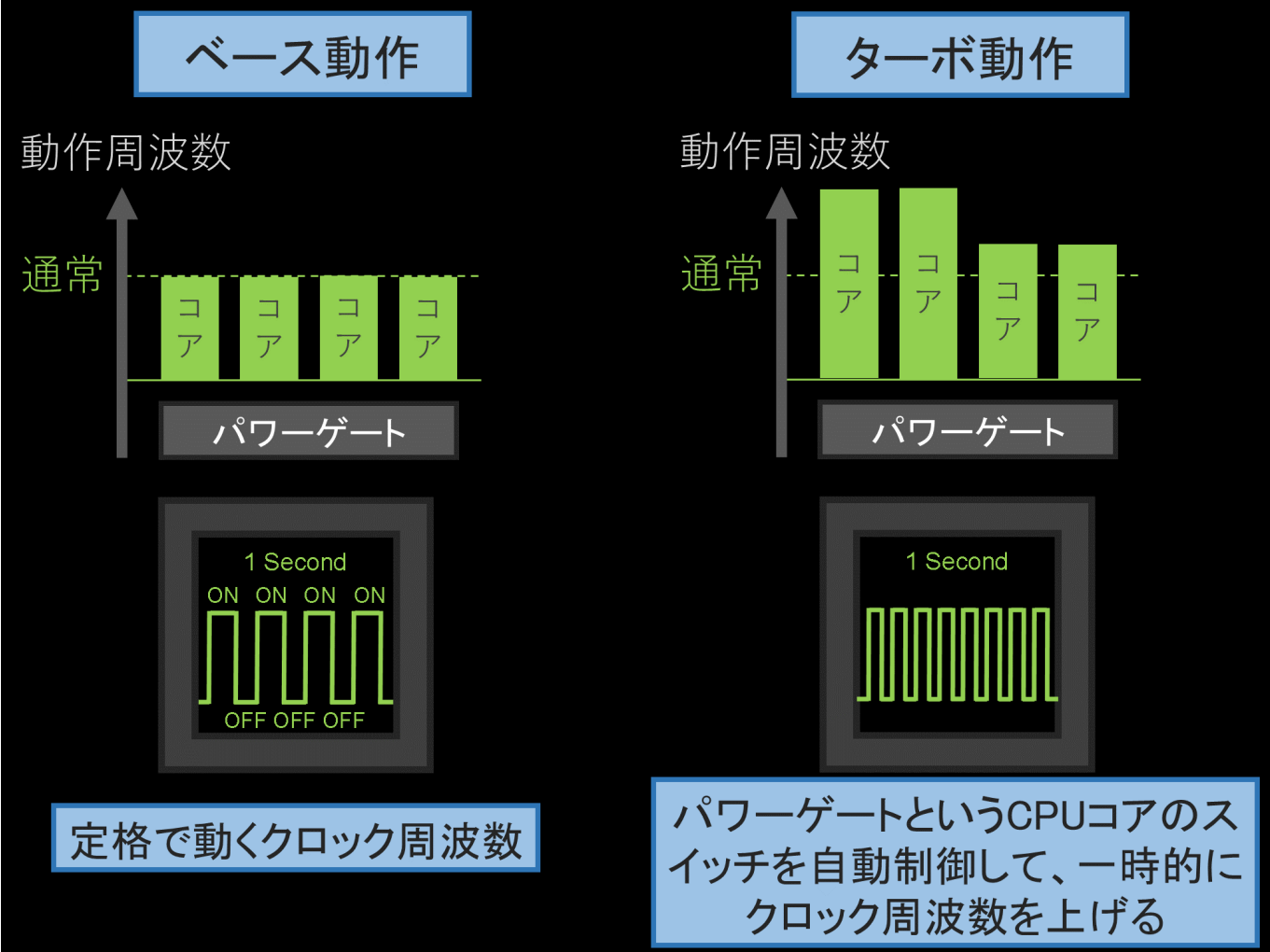
回路の処理歩調を合わせる信号が1秒間に何回発生するかを示した値のこと。



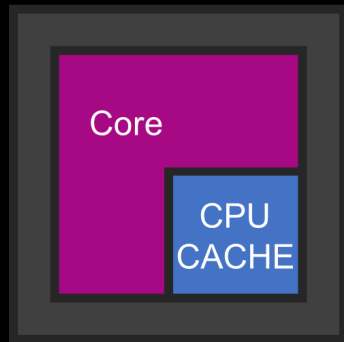
<



クロック数も、
高い方が高性能

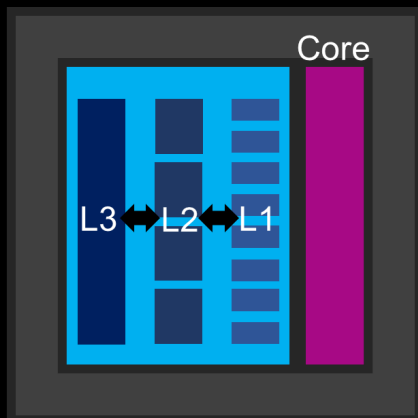


キャッシュ



キャッシュ

バスインタフェースから受け取ったデータを一時的に保管しておく場所のこと



CPUのキャッシュメモリには、

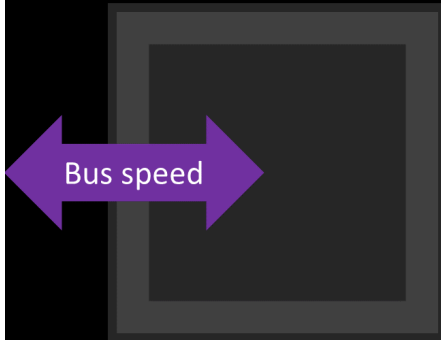
- 1次キャッシュ(L1キャッシュ)
- 2次キャッシュ(L2キャッシュ)
- 3次キャッシュ(L3キャッシュ)

というキャッシュレベルの種類が存在する(存在しない場合もある)。

バススピード

バススピード

CPUとそれ以外のコンポーネントとをやり取りするスピードのこと



バススピードは、「FSB」(フロントサイトバス)という指標で表される。
最近のCPUでは、「QPI」や「DMI」という指標が使われる。

表示は「4GT/s、5GT/s、8GT/s」のように表され、数値が大きいほど高性能